



ナミビア オマルル通信

つうしん

ナミビア通信 NO.2 2022.03.18 JICA 海外協力隊 豊田桃香

みなさん、こんにちは。コロナウイルスの影響で延期になっていましたが、2022年2月末ようやくナミビアに来ることができました。砂漠のある国なので、自然はあまりないのかと思っていましたが、思ったより一面緑で自然豊かな国だなという印象です。(今は雨季ということもあるでしょうが。)また、昔ドイツの植民地だったこともあり、首都ウィントフックは、洋風の建物も多く、電気や水道もきちんと整備されており、過ごしやすい街だなという印象です。しかし、電気や水道が通っていない地域も一部あり、経済格差が大きいのもこの国の課題といえます。



←立派な建物ですね。

怒もなく、地面は土です。→

電気もなく、水道やトイレは、外に共用のものがありました。



さて、私は2022年3月15日より、首都から2時間半離れたところにあるオマルルという街にやってきました。そのウバセン小学校で2年間働く予定ですが、7年生の子どもたちが、初日にウエルカムパーティーをして盛大に迎えてくれました。(ナミビアは0~7年生までが小学校に通います。7年生は日本でいう中学1年生です。)ある民族のダンスや歌を披露してくれ、代表児童からのあいさつもありました。先生も英語で自己紹介をし、各教室へあいさつをしに行きました。今は、1年生のクラスへ入って、算数の授業のサポートをしています。日本の小学校と似ているところもあれば、全然違うこともたくさんあります。また追々、いろいろなことを紹介していきますね。



たくさんの日本とナミビアの手作り国旗で出迎えてくれました。

3月21日はナミビア共和国の独立記念日です。1990年に独立したので、今年で32年になります。18日(月)に独立記念パーティが学校で開かれました。自分達の民族衣装を着て、お互いの民族ダンスを披露しあってお祝いしました。(たくさんの民族の子どもたちが集まる学校です。お互いの文化を尊重しあっているのが素敵だと思いました。)

